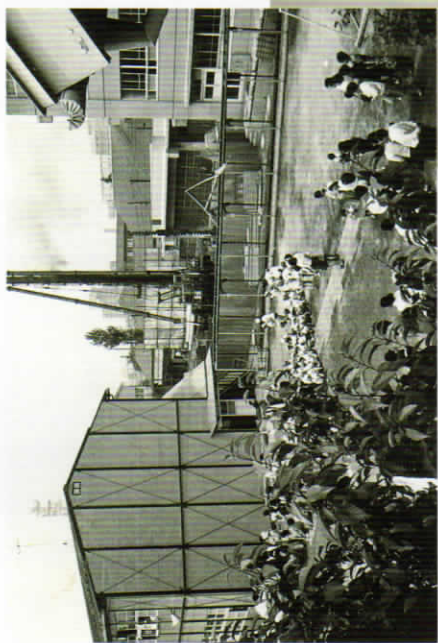
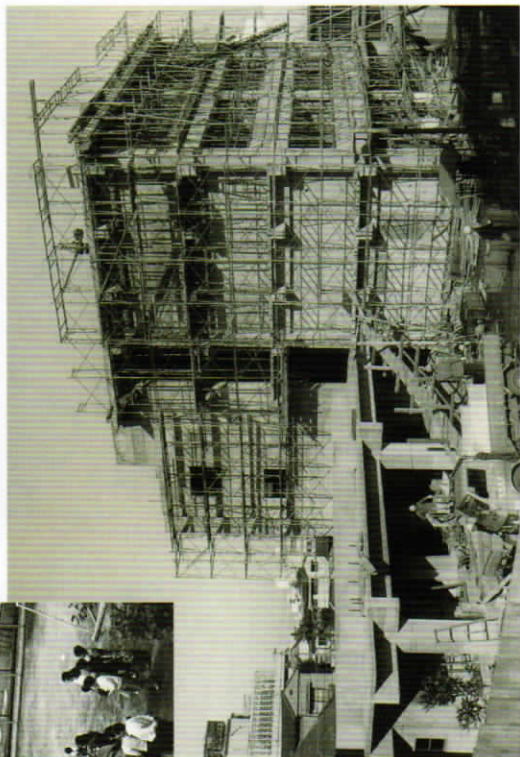




木造校舎



プレハブ校舎での生活

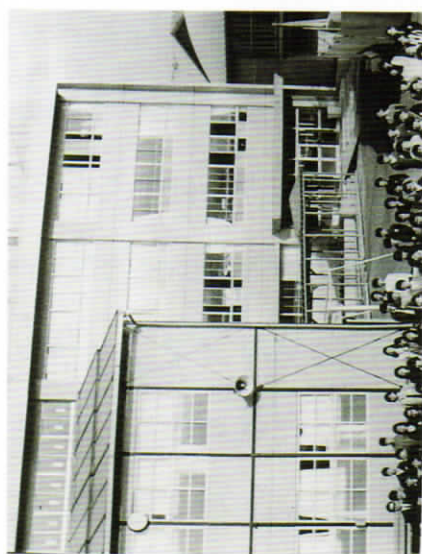


鉄筋校舎 工事中

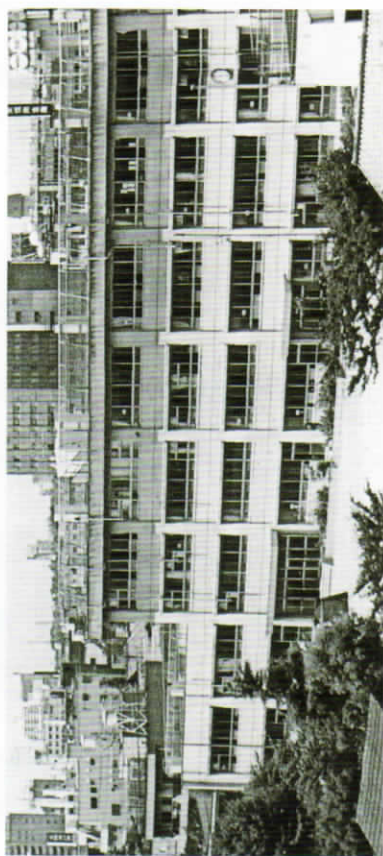
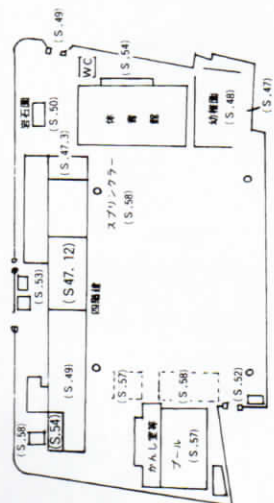
五 鉄筋校舎完成

(1) 木造校舎から鉄筋校舎へ

不動小学校の校舎は、昭和四十六年から昭和五十四年にかけて、四回にわたり、それまでの二階建ての木造校舎から、現在の四階建て鉄筋校舎に、建て直されました。まず、昭和四十六年、東側の校舎が取りこわされ、その前にプレハブ校舎（仮の教室）ができました。先生方や子どもたちが一緒になって、机やいすなどの荷物を運びました。生活し慣れた校舎とお別れするかと思うと、なんとなく寂しい感じだったそうです。プレハブ校舎は、足音などが響き、とても暑い所でした。また、校庭も狭くなりましたが、みんなで工夫しながら遊びました。給食ができなため、しばらくはお弁当でした。



第一期工事終了（手前はプレハブ校舎）



第三期工事終了

昭和四十七年三月に、第一期鉄筋校舎（教室六、保健室、給食室、放送室、主事室）ができあがり、六年生と三年生が入りました。新しい校舎は、ペンキなどの臭いが残っていましたが、とてもきれいで広く、気持ちがよかったそうです。また、黒板は、前に電気が付いて、見やすくなり、トイレも水洗で、使いやすくなりました。

昭和四十七年十二月、第二期工事（教室十三、校長室、職員室、事務室、図工室）が終了しました。校舎の完成に、全校の子どもたちは、喜びの声をあげました。

昭和四十九年三月には、第三期目の、六つの教室と理科室、家庭科室、音楽室、図書室ができあがり、本格的な校舎になってきました。現在のような校舎が完成したのは、工事を始めてから八年後の、昭和五十四年でした。平成二年